

（概要）

2024年3月22日

（第1回）宇部市史編さん部会長会議

○参加者

脇和也（編さん委員長・近現代部会）

内田鉄平（編さん副委員長・近世部会）

岩元修一（古代・中世部会）

○日時 令和6年3月22日 午後4時～5時30分

○場所 宇部市立図書館（会議室）

### 1、部会会議の報告①—近現代部会

はじめに、各部会長から、部会会議の報告が行われ、編さん全体に関わる課題を部会長で話し合いを行った。脇部会長から、市史の著作権の問題が提起され、この点については、他自治体の事例を参考に、事務局に骨子案作成を求め、編さん委員会で正式に規定することを確認した。また、各部会で記述方法の統一などの方法が話し合われ、資料編・通史編を作成するなかで決定することを確認した。

### 2、部会会議の報告②—古代・中世部会

次に、古代・中世部会の岩元部会長から部会会議の報告が行われ、会議において、考古分野の調査研究が必要であると確認され、次年度の活動を旧楠町の発掘調査に充てることを決定した。併せて、資料編に文化財を掲載するため、文化財調査の必要が提起され、発掘調査と併せて編さん委員会では、資料編・通史編を検討することとした。

また、市職員の協力など新たに編さん基本方針案に加える条文についても編さん委員会で議題に挙げることを確認した。

### 3、部会会議の報告③—近世部会

最後に、近世部会の内田部会長から部会会議の報告が行われ、会議では、市史編さん事業で収集された資料の公開やその後の保存の問題が会議で上がり、この点を編さん委員会で

## 資料 1 (別添)

議論することを確認した。また、執筆箇所として、他部会との時代区分についても各部会で調整が必要であると確認し、資料調査と並行して話し合いの必要があることを確認した。

### 4, 今後の編さん事業について

三部会の部会長の報告を受けて、次年度の編さん事業についての話し合いが行われた。そのなかで、近現代史部会において、旧楠町の近現代史の執筆を行う人員が不足していることもあって、内田近世部会長が兼任する形で、旧楠町史での近現代部会を設ける案が提起され、次回の編さん委員会での議題に挙げることを確認した。

また、各部会の活動として、部会会議を2～3回（リモートも可）、資料調査に関しては3～4回程度の実施を編さん委員会での議題に挙げることを確認して、会議を終了した。